

# 木祖村 議会だより

No.132

平成23年4月14日  
木祖村議会  
議会報編集委員会  
TEL (0264)36-2001



4月5日 木祖小学校入学式

## 3月定例会

平成23年度予算決定 ..... 2

議案審議 ..... 4

村政を問う ..... 8

1月臨時議会 ..... 14

# 平成23年度当初予算決定！

## 総額29億1,848万円でスタート

前年比 1億4,906万円の増

### 3月定例議会

平成23年3月定例議会は、3月8日(火)に開会し、会期を3月22日(火)までの15日間と定め、村長の施政方針説明、行政報告、木曾広域連合議会の報告、松塩筑木曾老人福祉施設組合議会の報告、一般質問(8名)が行われました。また、人事案件1件、条例の改正等7件、平成22年度補正予算、平成23年度予算の審議が行われ、原案どおり可決されました。

### 平成23年度一般会計及び特別会計当初予算

会計名	平成23年度	平成22年度	比較増減	繰入金
一般会計	22億9,080万3千円	20億4,568万9千円	2億4,511万4千円	—
国民健康保険	3億710万7千円	3億2,060万6千円	△1,349万9千円	1,321万円
老人保健	0円	71万3千円	△71万3千円	—
後期高齢者医療制度	3,511万1千円	3,486万7千円	24万4千円	915万8千円
村営水道	6,435万5千円	1億2,484万6千円	△6,049万1千円	459万7千円
農業集落排水事業	9,403万3千円	1億427万2千円	△1,023万9千円	6,792万7千円
公共下水道事業	1億2,707万5千円	1億3,842万3千円	△1,134万8千円	7,135万6千円
計	29億1,848万4千円	27億6,941万6千円	1億4,906万8千円	1億6,624万8千円

一般会計は、過疎対策事業などが当初予算で予算化され、産業振興などの分野で新規事業が導入されるなどしたことから22年度と比較し、大幅な増加になった。

#### ◇歳入

村税：味噌川ダムにかかる償却資産税の減少等により2,765万7千円の減少

#### ◇歳出

広報きそ縮刷版の発行 727万7千円／たんぼぼ号の運行委託 618万円  
 そば乾燥調整施設補助 690万円／畜産担い手確保育成事業 419万1千円  
 地域産業活性化基金事業 600万円／社会体育館耐震改修事業 1億557万5千円

\*老人保健特別会計は、平成22年度をもって閉鎖。

\*村営水道特別会計は、建設費等の減少により予算規模は半減した。

## 平成22年度 一般会計及び特別会計補正予算

会計名	補正前	補正額	計	主な内容
一般会計	25億1,862万8千円	△1,581万3千円	25億281万5千円	歳入…村税・地方譲与税・地方消費税交付金の増 県支出金の減、臨時財政対策債、辺地債の減 歳出…広域連合負担金の減・作業道開設工事費の減 融雪剤、除雪・融雪作業委託費の増 産業担い手育成基金積立金
国民健康保険	3億4,569万3千円	△1,392万6千円	3億3,176万7千円	歳入…療養給付費交付金、諸収入の減 歳出…保険給付費、諸支出金の減
老人保健	71万3千円	△69万8千円	1万5千円	歳入…支払基金交付金の減 歳出…医療諸費の減
後期高齢者医療制度	3,492万7千円	△195万4千円	3,297万3千円	歳入…保険料の減 歳出…広域連合納付金の減
村営水道	1億3,943万1千円	△665万5千円	1億3,277万6千円	歳入…一般会計繰入金の減 歳出…施設管理費、建設改良費の減
農業集落排水	1億541万2千円	△1,065万8千円	9,475万4千円	歳入…一般会計繰入金の減 歳出…建設事業費の減
公共下水道事業	1億3,960万4千円	△134万8千円	1億3,825万6千円	歳入…一般会計繰入金の減 歳出…総務費の減

### 条例の改正

◆木祖村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正  
月60時間を超える超過勤務時間の積算の基礎から除かれる勤務時間の規定の除外。

◆職員の子供休業等に関する条例の一部改正  
育児休業をすることができない職員の規定の改正。

◆木祖村特別会計設置条例の一部改正  
老人保健特別会計の廃止。

◆木祖村基金条例の一部改正  
畜産振興等の後継者育成に必要な資金を積立て、平成24年度以降の事業の財源とする。

◆木祖村過疎地域自立促進計画の変更  
より実効性のあるものとするための計画の一部変更。

◆辺地総合整備計画の変更  
事業の見直しによる計画の変更。

◆木曾広域連合ふるさと市町村圏基金に係る出資金の権利一部放棄  
「水と緑のふるさとづくり」推進のため基金の一部を取崩す。木祖村分97万5千円。

### 人事案件

●木祖村  
固定資産評価審査委員会委員  
平井康則氏  
木祖村大字菅2242番地  
任期は平成23年4月1日から  
平成26年3月31日まで



2月5日 藪原町並み雪灯り

# 審議された内容

## 新年度予算 人材育成を中心とした ソフト事業への審議が集中

●職員の子供休業等に関する条例改正

**問** 嘱託職員の雇用期間が1年なら出産を控えている人、小さい子供を抱えている人を雇わなければこの改正の必要はないのでは。

**答** 引き続き1年以上勤めている職員が対象である。

●一般会計予算関連  
員と一般の嘱託職員との整合性は。

**会計管理者** 不公平のないよう対応している。

**問** 給食センター技術職員と庁内職員とのバランスはどうか。

**副村長** 賃金は保育園の給食職員と学校給食センターの職員と同レベルになるよう調整している。

**問** 3年前に庁内の臨時職員を嘱託にしたが、学校給食職員が1年遅れている。その分の支払いは行政の責任だが状況はどうか。同一労働、同一賃金、同一職階が原則。早急に解決を。

**副村長** 給食センター職員は19年度嘱託化し、20年度に給与を引き上げた。

**問** 資格を取った嘱託職



福 寿 草

**問** 民間企業での職員研修の経費は、庁内全員参加の講習はないのか。

**総務課長** 民間での研修の直接的経費は発生しない。外部団体の研修を取り入れ、必要に応じ職場内研修も取り入れたい。

**問** 葬祭場、ブライダル関係での研修も良いのでは。伊那の企業が二重丸とは思っていない。男女共同参画の場でも研修を。

**総務課長** いろいろな機会を取り組みたい。最初にカスタマーサービスの研修を受け、その後第一線で研修を受けることができればと考える。

**問** 23年度総合防災訓練の内容は。

**総務課長** 詳細は未定であるが、土砂災害関係の訓練を行うことを関係機関と協議中。

**問** 税込確保のため、ふるさと納税を広く呼びかけを。

**答** 民間ベースで行いたい。

**問** 電源立地交付金の使用は。

**答** 景観形成やこだまの森芝生補修に充当したい。

**問** 食生活改善推進協議会への補助金が下がったままの状態。活動が活発な団体には補助金額を上げて良いのでは。

**答** 活動に対する評価は大切。24年度予算査定の中で考慮したい。

**問** 電線立地交付金の使用は。

**答** 電線立地交付金の使用は、必要なものには改正等を行い、多くの人に利用していただけるよう取り組みたい。

**問** 就学援助については。

**教育長** 就学援助は、21年度に国に準じた要綱を作成し対応してきた。

**問** 小学生が年額8万9千円。中学生が11万円。年度当初に家庭からの申請により扶助を行う。

**問** 障害者関係、扶助費、コミュニケーション支援事業の内容は。

**住民福祉課長** 耳の不自由な方への手話通訳事業である。

**問** 文化材保護審議委員会委員報酬が昨年度の3倍になっている理由は。

**教育長** 郷土館内展示物以外の物品調査の報酬で

**問** 木曽病院を守る会への加入状況は。各種健診

業での木曽病院とのタイアップの状況は。

**住民福祉課長** 木曽病院を守る会の会員数50数名の連携について。高齢者には福祉タクシーを病院まで運行中であるが、一般の村民には周知をもつと行う必要がある。

**問** ダムのふれあい館が縮小される中、今後は郷土館の役割は大きくなる。設置条例、要綱等の見直しを含め運営についてしっかりした体制づくりを。

**村長** 郷土館だけでなく付近の施設全体について検討し、必要なものは改正等を行い、多くの人に利用していただけるよう取り組みたい。

**問** 就学援助については。

**教育長** 就学援助は、21年度に国に準じた要綱を作成し対応してきた。

**問** 小学生が年額8万9千円。中学生が11万円。年度当初に家庭からの申請により扶助を行う。

**問** 障害者関係、扶助費、コミュニケーション支援事業の内容は。

**住民福祉課長** 耳の不自由な方への手話通訳事業である。

**問** 木曽病院を守る会への加入状況は。各種健診

業での木曽病院とのタイアップの状況は。

**住民福祉課長** 木曽病院を守る会の会員数50数名の連携について。高齢者には福祉タクシーを病院まで運行中であるが、一般の村民には周知をもつと行う必要がある。

**問** 木曽病院を守る会への加入促進を。

**村長** 職員に督励し皆で取り組むべきと考える。病院を利用しやすい体制を組むことが会員の増に結びつくと考え。利用の拡大を図るよう努力したい。

**問** 婚活事業は難しい事業。村民に広く協力を求めることが必要と思うが、23年度の目標は。

**答** 交際が数組までいければ良いと考える。

**問** 当事者からのニーズは多かったのか。

**答** 自治会の中で跡継ぎがないという声や、アンケート調査で結婚を望む声が多かった。

4月2日 消防任命式



**問** 商工振興資金、利子補給金と制度資金保証給付金の近年の状況は。

**商工観光課長** 22年度の保証料補給は、融資総額1億530万円。運転資金9,380万円。設備資金1,150万円。

**問** 融資関係で23年度について3月末で需要が増えて例年並みになる見込みなのか。

**商工観光課長** 例年需要が多くなるのは12月と3

月。昨年並みには出るものと考える。

**問** 名古屋出張所は、6月以降スミ設備新社屋の建築により事務所使用料はどうなるのか。

**商工観光課長** 出張所は状況により使用料が変更となる可能性もある。

**問** マラソン大会コース認定費用は従来どのコースでの認定なのか。交付金と参加費で大会が賄えるのか。観光面で関東地区へのPRも大切と考えるが。

**商工観光課長** マラソンコースは従来と変更無し。大会運営では中京方面の新規スポンサーを数社内定した。

PRは関東での出展ブース経費を計上。広告宣伝費も電波関係が主になるが関東方面へシフトすることを考えている。

**問** イベントは重ならないように分散を。

**商工観光課長** 地元の経済活動に有利になるようにしたい。

**問** 鳥居峠の危険木除去はどの程度行うのか。

**商工観光課長** 丸山公園付近の雪害により折れた枝の除去を行う。見通しの悪い箇所については、保安林解除が必要になる。

**問** 緊急雇用事業での時間管理の方法は。

**答** 直接雇用は村が労務管理する。委託は委託先団体で管理。

**問** 木の匠プロジェクトは商工会で2名採用というが仕事内容は。人員は確保済みなのか。

**答** 1名は木工文化センターでお客様・バイヤー等の対応。1名は物産展・見本市等での対応。人員の確保はされていない。

**問** 多言語パンフレット、看板は今後必要だが、外国人の入り込み実数は把握しているのか。

**答** 17%程度である。

**意見** 英語でガイドをできる人の養成を。役場内でも英語で対応できる人の育成を。

## 高まる地域産業活性化への期待

# 蕎麦乾燥施設 間伐材利用の検討

**問** こだまの森の芝生グラウンドの修繕についてラグビー禁止等使用規定の見直しは。

**答** お客様は状態の良いほうを使ったがる。予約に応じ2つのグラウンドを上手に使うことに心がけ、補修後の使用規定の見直しは行わない。最初から禁止との対応はしたくない。

**問** 有害鳥獣駆除について、狩猟期間内でも捕獲したものに對し猟友会に補助できないか。

**答** 単価を上げることよりむしろ猟友会の運営自体について考えてほしいとの声があった。

**問** 役場職員の有害鳥獣駆除員の状況は。

**答** わなの有資格者6名、銃は3月に1名が取得。

**問** わなの資材補助については。

**答** 狩猟期間内の猟に実合は捕獲許可をしていく。有害鳥獣対策は1年を通して行われる。特にわな

については仕掛けた本人が毎日見回りをする必要があり、上乘せ補助を検討している。

**問** 蕎麦乾燥施設の用地についての説明を。

**答** 面積は681㎡、地目は雑種地。今後地主と交渉。

**問** 村有の遊休地があればそこへ建設すべきでは。

**答** 集团的作付けしている近くのほうが使い勝手が良い。菅地区に村有の遊休地はない。

**問** 蕎麦乾燥施設ができれば冷蔵庫が必要になるのでは。

**答** 木祖村で収穫した蕎麦は、ほぼ全量を(株)源が買い上げるため計画にはない。

**問** 外国人の山林取得の予防策として、下流域の特別な団体に公有地の一部を管理していただくとはどうか。

**副村長** 外国人の土地取得問題については、下流域の皆さんに管理してい

ただくことは不可能ではないと考える。検討課題としたい。

**農林課長** 外国人による山林取得は村民、司法書士との連携を取りながら情報の入手に努めたい。

**問** 村内の緩衝帯整備について。作業は早い段階で残してしまおう。路敷等は残してしまおう。完工検査をきちんとされたい。主林木には程遠い木を残している箇所が多くある。やるのならもっと親切な方法で。

**農林課長** 緩衝帯整備のあり方は計画森林に取り組み、今後発注する中で留意し仕事を進めたい。

**問** 作業道神谷線は延長工事、路肩の緑化工事が予算計上されている。来年度以降森林計画の施行条件等が変わり、作業道を入れたら伐採し搬出しなければいけなくなる。個人的には皆伐して広葉樹を植林することが将来的に良いと思うが、村としてどう考えるか。

**農林課長** 神谷線の村有林は整備の行き届かない林もある。調査をしつかり行い、今後活用できる材の育成をしたい。

**問** 中津川に新設される合板工場は現在試験操業中。この春、一時的に原木の価格を上げ集荷体制を強化するが、一段落したら低価格策を講じ、素材業者も系列に組み入れるだろう。こうした事態にならないよう行政を含め注意する必要がある。

**農林課長** 合板工場は長野県等との調整が見えていない部分がある。今後方向が見えてきた中で報告したい。

**問** 搬出間伐は、個人で搬出したものを村が何らかの形で買い上げ、利用することはできないか。

**農林課長** 搬出間伐は今後、地域森林委員会等で協議をしていきたい。

**問** 間伐材は景観形成の中で小規模の利用を考えるとどうか。

**農林課長** 地域材は、地

域で活用できれば良いことと考える。今後検討したい。

**村長** 間伐に関して国は林業の所得補償制度を考えている。内容を把握し関係者と情報分析をしながら考えたい。合板工場は木曽地域として検討することが必要。搬出では業者の育成も必要になる。

**問** 藪沢からの導水工事の内容は。

**答** 将来、道の駅に水車を作りたい。23年度は導水管の整備のみ。

国民健康保険  
特別会計予算関連

**問** 基金の状況から、保険税の値下げについてはどうか。

**住民福祉課長** 医療給費の状況次第では年2千万円程度基金を取崩す状況にもなる。保険税を上げずに基金を保持したい。

村営水道  
特別会計予算関連

**問** 検討委託は何名で実施しているか。

**答** 藪原、小木曾、菅、吉田地区の4名。

**問** 藪原浄水棟の調査内容を具体的に。

**答** 藪原浄水棟は昭和52年完成で老朽化が激しく、今後予想される災害に対応できるかは心もとない。既設の浄水棟の近辺に新しい浄水棟を新設する計画で調査を行う。

公共下水道事業  
特別会計予算関連

**問** 滞納の状況は。

**答** 農集排関係と公共下水道あわせて72万円。

**意見** 水は木祖村の大切な資源。源流の里としてきれいな水を下流に流している。村を挙げてPRを。

**問** 2月末に、スキー場組合長から下水道料金の軽減に関する陳情を3月議会に提出したい、と同時23年度予算に反映して欲しい旨の話があったが。

**答** 2月24日、スキー場

組合長から村長宛陳情書が出された。1軒廃止、1軒休業の状態。22年度は5割軽減を実施中。今後どうするかは内部、上下水道協議会等で検討を重ねたい。

過疎地域  
自立促進計画の変更

**問** 畜産施設の補修事業はもつと予算計上しては。

**答** 予算化は既存の施設が対象。新規建築の場合は別途制度資金等を活用したい。

**問** 畜産の担い手育成ばかりでなく他産業の後継者育成にも力を。

**答** 新しい基金は畜産だけでなく他産業にも枠を広げていきたい。

**問** 畜産担い手の住宅は小木曽地区での確保が良いのでは。

**答** 当面すまいる住宅を考えている。今後民間住宅を確保できればそうしたい。



2月17日 雪の田の上観音堂

# 木曾広域連合議会報告

(報告 奥原 當 議員)

広域連合議会は2月28日に開催され、23年度一般会計予算、介護保険特別会計予算の2会計予算が提案・可決されました。

## ◆行政改革の推進

- ・限られた財源で最大の事業効果を生み出せるよう効率的・効果的な事務事業のあり方を検証し、職員各々がコスト意識を持ち、効率的で効果的な行財政運営に取り組む。経費負担率は各町村、均等割20%、人口割80%とする。

## ◆政策の基本方針

- ①美しい木曾を後世に残すための景観形成
- ②交流人口を増やし地域の活性化と森林資源の保全活用を図る交流事業
- ③地域高度情報化施設を活かした情報の受発信
- ④地域の実情に応じた福祉、保健・医療体制の充実
- ⑤循環型地域づくりのためのリサイクルの推進と総合的な廃棄物処理関連施設の推進
- ⑥文化・スポーツの振興と人材育成
- ⑦すみよい街を目指した、より高度機能が果たせる消防業務体制の強化

## 平成23年度木曾広域連合予算

会計名	総額	主な内容
一般会計	28億2,499万2千円	歳入…分担金及び負担金20億3,338万5千円、使用料及び手数料5億9,921万2千円、諸収入8,670万5千円、広域連合債1,480万円他 歳出…衛生費9億6,908万2千円、消防費6億4,155万2千円、総務費5億9,986万3千円、民生費2億6,987万円、公債費1億6,231万3千円、教育費7,506万9千円他
介護保険特別会計	37億8,441万4千円	歳入…1号被保険者保険料5億8,272万円、町村負担金5億4,504万1千円、国庫支出金9億5,860万5千円、支払基金交付金10億8,744万3千円他 歳出…保険給付費35億8,941万4千円、地域支援事業費1億448万1千円、総務費8,913万1千円他

## 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告（2月定例会）

(報告 田上康男 議員)

◆松塩筑木曾老人福祉施設組合議会の2月定例議会が2月18日に開催され、平成23年度一般会計予算他が原案どおり議決、承認された。

### ◎主な議決事項

- ・特養建設、運営委員会条例を廃止する条例
- ・特別職の職員の報酬に関する条例の一部改正
- ・職員の旅行等に関する条例の一部改正
- ・議会会議規則の一部改正
- ・職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部改正
- ・一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例
- ・議会運営委員会条例の制定

## 平成23年度一般会計予算概要

歳入

(単位：千円)

歳出

款	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	比較	款	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	比較
サービス収入	4,359,567	4,309,546	50,021	議会費	1,151	899	252
分担金負担金	107,239	111,435	△ 4,196	総務費	235,748	273,205	△ 37,457
財産収入	5,999	7,136	△ 1,137	民生費	3,942,191	3,989,425	△ 47,234
寄付金	190	190	0	公債費	376,910	411,371	△ 34,461
繰入金	75,696	118,440	△ 42,744	予備費	5,000	5,000	0
繰越金	1,000	0	1,000	歳出合計	4,561,000	4,679,900	△ 118,900
諸収入	11,309	13,153	△ 1,844				
組合債	0	120,000	△ 120,000				
歳入合計	4,561,000	4,679,900	△ 118,900				

# 村政を問う

## 8議員12質問。新年度からの村政を質す

たら良いという事も不透明なままになっている。この温泉資源を利用できないのはもったいないという声も多く寄せられている。温泉こそ、木祖村の活性化と自立の村をつくるうえでこの切り札となると考える。

**村長** 平成19年議会、20年議会でも取り上げられてきたが、温泉は掘削から14年の月日が流れ、様々な経過があった。昨年4月には源泉所有者によって「信濃しらゆり」温泉として、村民への配布や足湯が行われた。会

社側も温泉スタンドを設置しても良いとの話もあった。最初はスタンド設置やネット販売で進めていき、需要が高まれば次のステップに進めると思う。

民間ベースで進めていただきたい。研究グループで話し合うのは良いが、その後の運営もしっかり考える必要がある。村としても協力はする立場なので、源泉所有者の見解も聞き、関係者との話を進めながら研究をしてみたいと考えている。

**Q** 高度経済成長が終わり、過疎高齢化や労働力の減少、経済活動や地域活動が低下している今、木祖村を背負う子供や若者に夢をもたせるような政策を。

暮らせれば、村は長く存続できると考える。新年度では、プレママサポートを第二子まで拡大し、長期の休みに対応した放課後児童クラブの実施、保育料の据置、移動音楽教室の助成拡大などを新たに実施する。

### 木祖村の温泉について

柳沢明義議員

村長…民間ベースで進めてほしい

- ① 産業振興への活用
- ② 村民が利用できるこいの湯
- ③ 村民の健康福祉への利用や健康ランド等について研究

**Q** これまで木祖村に出ている温泉を村の産業に利用する事ができないかという点を中心に質問をしてきたが、未だにできないかできないか、どうし

を進めて欲しい。農協の跡地にこいの場となる温泉健康施設をつくって欲しいとの声もある。村が中心となって、連合自治会や小木曾林協、商工会などで研究グループを立ち上げていただきたいが。



2月17日 奥木曾湖結氷

**村長** 山村地域では過疎対策が基本だが、都市部と過疎地の格差解消には至っていない。木祖村の喫緊の課題に経済雇用問題がある。23年度予算にあたってはこの点に留意して計上した。経済基盤の下支えによって少子高齢化対策への波及効果を期待するところである。

過疎高齢化が進んでも、健康で生きがいを持って、長い年月を経ても若者や孫達につながる夢のある事業を考えている。経済対策と並行して、若者や子供達に喜ばれる村づくりを進め、少しずつでも定住できるように取り組みたい。

### 地域政策の基本的な課題と方向について

中村重隆議員

村長…若者に喜ばれる村づくりを

## 役場庁内の雰囲気改善を

古畑節行議員

副村長…全職員が民間で  
研修を行う

Q 役場の対応の悪さについて、暗く不親切と村民から寄せられ何度か取り上げられてきたが、一向に改善される様子がない。役場内で何かを探す様子の人を見ても誰も声をかけない。元職員でさえ行きにくいという。この問題を簡単に考えていないか、知らないか。

A 大事な村民について住民サービスを考えているか。どんな検討をしてどんな措置をとってきたか、具体的にどう改善するか。

副村長 明るい村づくりは元気な役場の雰囲気からと思う。職員が住民サービスをさせていたかどうかというように意識が変わらないのが原因。研修も何度かやったが効果が

出ない。

Q 新年度から副村長以下全職員が民間サービスの現場で職員研修を実施する。2、3日店員の仕事を体験し実際の接客を学ぶ。厳しい民間の現場を体験し明るく元気な役場の雰囲気づくりに努めたい。

Q 研修はしないよりしたほうが良いが根本は心の問題。村長以下が職員に思いやりの心で接すれば職員も村民に親切に対応できる。思いやりの心がなければ親切な対応はできない。庁内に案内係を置くという以前からの提案はどうか。また住民の意見や声などの住民情報を担当個人にとどめず集約し回答するというしくみを作らないか。

副村長 案内所設置は研究している。窓口は一本化したほうが良い。情報

のしくみは作らずとも職員が職務に対して原点に帰れば解決するので、そうなるよう育てていきたい。

Q 思いやりの心はもつともなことで、村民に対する最高のお返し。管理職が引き続き身をもって実施していく。

## 教育長を課長職にできないか

村長…今後の課題として村民や教育委員の意向を聞く

副村長 案内所設置は研究している。窓口は一本化したほうが良い。情報のしくみは作らずとも職員が職務に対して原点に帰れば解決するので、そうなるよう育てていきたい。

Q 教育長は教育委員の一人であって事務の責任者であり、特別職であるという規定はない。教育長は教育公務員であり、一般職の地方公務員として服務規律が適用されるとするが、特別職に準じた待遇をしている自治体が多い。松本市のように54の小中学校がある自治

体でも教育委員は5名、小中各1校の木祖村も5名である。  
木祖村の教育長がなぜ一般職ではないけないか。県内にも教育長をおかない自治体があると聞く。課長職でなく特別職にこだわる理由を聞きたい。

村長 自立に向けての村づくりを進める中で、教育長の非常勤化が論議されたことがあるが、見直しをされずにそのままになっている。  
下伊那地区などで教育長をおかず、一般行政職の課長担当職に教育長職務代理をさせている事例もあるが、人材がいいためと認識している。教育長は学校教育や社会教育にわたる広い分野で事務的な対応だけでなく、村の特別職の一員として村全体の運営にもかかわっている。

この問題は、村民の意向や教育委員にも意見を聞いて今後の研究課題として進める。

意見 一般職と特別職と

の大きな問題に退職金がある。教育長は天下り先となっている。名古屋市の約500万、副村長約900万の退職金である。一般職なら普通の退職金だけで不要な支出である。世間の眼は議会をはじめ首長の報酬にまで厳しくなっている。次期からの検討を望む。

新聞によれば、内閣総理大臣の退職金は4年間勤めて524万であるの



3月4日 名古屋市農業センター梅祭り

## 源流の里を守る為に -23年度予算から- 深澤衿子議員

副村長…農協の動向を見守る

**Q** ①東日本大震災、県北部地震の被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げ、亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。このような非情の震災を見ると、村の耐震改修に不安を抱く。積極的に取り組んでいるが、なかなか進まないのが旧庁舎である。解体する建物の行方は。

**副村長** ①この大震災は人ごとではなく、村の建物も憂慮される。旧庁舎は解体前提で協議した。村事業主体でまちづくり交付金事業で改築したかったが、話がまとまらなかった。そうした中で政府も変わり補助事業が変わってしまった。今回の事で農協ともしっかり協議する。農協も4月の総会において一から計画をたて直すとの話があった。建物の安全性や周囲の住民の安全を考えれば、解体を含め事業を具体化していく。

**Q** ②他の施設は15箇所にのぼる。昭和56年以前の設計・建設された建物は、耐震診断・改修は進めていかなければならない。

**Q** 旧庁舎の問題は人命に関わる。万が一の時の補償を村はどう考えているのか。通告したにも関わらず残っているからという訳にはいかないと思うが。

**副村長** 農協とは補償等は保険で対応する事になる話をしてある。地震保険等十分配慮してほしい意は伝えてあるが、まだそこまで踏み込んでいない。農協とも話し合いを続ける。

村の施設については今回の事を教訓と考え、診断をして、できるものから順次改修していく。

**Q** 公共施設の中で農集排や公共下水施設の耐震はどうなっているか。

**建設水道課長** 今現在、配管はわからない。施設内はかなり耐性があると思う。点検をしていく。

**意見** どの施設も早急に対応される事を望む。23年度予算は本日議決されるが、旧庁舎など施設改修の補正は必用と考える。今後に備えていただきたい。村長の口から、農協は村民にとって重要な金融機関である事をしっかりと伝えていただきたい。

## 源流「きさらぎの里」の 農業について

村長…地域の要望に対応していく

平井英司議員

**Q** 縄文土器が多数出土する古代から人の生活が見られるこの「きさらぎの里」の農業についておたずねします。中山間地域直接支払い事業とは。

平井英司議員 おいて高齢化が進む中、小規模農用地の保全に向けた取り組みを推進するもので、いくつかの要件があるが、条件が整い地域の要望があれば相談を進めていく。

農林課長 中山間地域に

**Q** 野中原地域急傾斜地のU字溝の修理と、農道脇にU字溝を入られたりが。

**村長** 担当者も現地を見ているので、対応を前向きに考えている。ソバの作付をはじめ農業に取り組む村民の熱意が、昨年のコンバイン導入や乾燥機の導入につながった。これらを利用して地域が元気になる事を願っている。



旧正月どんど焼き

### 失業対策の拡大と 基金の設置について

奥原 当議員

村長：既存の基金を利用して対応

Q 現下の経済状況は海外へ企業が生産体制を移し国内経済は急速に縮小している。村内の失業・休業・低年金者等々の

方々の救済策として自治体が失業対策事業を行う必要性も生まれているが、

法人税減税5%をする。経団連はしかし雇用の拡大に使うとは答ええない。賃金は20年来統計から2

86%に減少した。一方企業内部留保資金は143兆円から244兆円。170%に増えた。

村長 方向性とすれば検討する課題であるが緊急雇用対策補助金を活用していく。また、国県にも要望していく。失業対策は本来、国県の守備範囲で、村が長期計画的に行うには限界もある。新たな基金創設よりも、現行の基金を当面利用していく。

Q 景観形成基本計画を策定し新年度で打つて出る積極策であるが、現下の経済状況から考えたい。

村長 政策提案は現下の経済状況を踏まえた上で建設的貴重な意見である。村民に等しく対策がとれたい。

補正で進めた景観雇用は大きな成果が上がり、頑張っていた。職員の態度も良くなってきたと評価をいただいたが、今度提案の新年度予算案には、職員の積極的提案を取り入れている。身近な事業で職員とも協議をすすめて、良いものを取り入れていきたい。

### 職員採用募集 期の早期化について

総務課長：早めに募集を広報したい

Q 職も決まらず卒業と言う事態が生まれる大変な時代になった。良い人

材を確保面からも、一般の産業界の採用期に合わせて、早期の採用試験にすることは機会均等の条件をつくることでもあると思うが。

総務課長 8、9月は国・

県・町村と重なる。こういう時代は村民も含め注視されているが、民間並みに内定を出すことは厳しい状況にある。民間スケジュールと異なり人材を確保できない。受験の

辞退もあった。退職が明確になった場合は早めに広報し、予定がとれる配慮を今後はしたい。

意見 就職戦線の状況を見ると公務員内定も早めに制度を変える必要がある。民間が内定取り消しを申し出たら、その大学は来年度よりはずされる厳しい現実がある。村から制度の変革を訴えていくべき。23年度予算の積極性からも改革をすべき。

### 景観と安全面より 菅川ケト坂付近 近崩落の今後

村長：景観に配慮したい

Q 中学校・役場の公園に菅川より巨石を抜き出して設置した。また何百

と言う石が盗掘されて、今の無残な姿になり、崩落・崩壊が至る所で起きているが。

村長 庭石として54年に

中学、61年に役場へ運ばれた。左岸崩落の原因かもしれない。豪雨等が重なった。右岸道路も流れが変わって起きた。昨年の7月災害で工事2度目となっている。藤掛地籍は景観も大切な所である。県などにも働きかけて、景観に配慮したものを工夫したい。

意見 特段に景観面に配慮しながら、原因は村が手つけた事が始まりであり、今後の対応を見守りたい。



3月24日 とちのみ保育園卒園式

## 源流図書館にiPad、電子書籍端末の導入を

星 梓 議員

教育長…長期的な視点で検討する

**Q** 今後10年先の図書館をめぐる社会環境の変化に、最も大きな影響を与えるのがiPadなどの電子書籍端末の普及だ。伊那図書館でもiPadを導入し、2月15日から貸出・閲覧が始まった。これらの端末は指でペー

ジをめくるように使え、操作も簡単で、文字の拡大ができるなどお年寄りにも扱いやすくなっている。国では「2015年に

すべての小中学生がデジタル教科書をもつ」目標で促進を始めている。すでに長野市塩崎小学校をはじめ、全国各地でiPadを活用した授業が進められ、村の学校でも日常的に使われる日は近い。学校の職員や図書館の職員、役場の職員なども、早いうちからこうした端末に、なじんでおく必要がある、村でも今後の教育現場で機種を選ぶ上でも、図書館に試験的に設置してみるメリットは大きい。

そこでiPadのような電子書籍端末を、源流図書館にも実験的に設置してはどうか。

現在村外から、木祖村の図書館にiPadを一台貸し出しても良いという申し出がよせられているが、受け入れる考えはないか。

**教育長** 電子ブックリーダーの開発も進み、電子書籍は身近になってきている。将来に向けて図書館も取り組んでいく立場である。最終的には予算

を伴うことなので、いろんな方向性や将来性を考えながら、探っていく。長期的視点で、色々使ってみることも選択肢に入れ、検討してゆきたい。



手作り雛人形



## 地方議員年金廃止と公費負担について

村長…  
現行制度はやむを得ない

**Q** かねてより「議員特権」と批判の多い地方議員共済年金が六月廃止の方針で、国会で法案が提出される事になっている。しかし、この廃止法案の本身は、12年以上在職した議員に対しては今後も給付を続け、受給資格も温存し、遺族年金まで支払われる。問題は、廃止に伴い現職議員の掛け金がなくなるにも関わらず、議員共済会を存続させ、その赤字をこの先何十年も税金で補てんし続けるという点。

木祖村でも、昨年は297万円だった議会共済費が、新年度では1,451万円と5倍の額が計上された。そしてそれは今年一年限りで清算されるのではなく、今後50年以上も税金投入が続く事になる。

木祖村は自立以来、健全な財政運営を心がけ、ムダをなくすよう職員も知恵を絞ってきた。議会も4年間の報酬カットで歳費削減をした。

村長は、木祖村の将来の財政を考えたら、税金は行政サービスの拡充や住民サービスの向上に使い、将来へのツケを減らし、公費負担を減らす努力をしようと思うが、この問題をどう考えているか。

**村長** 議員年金はもともと互助年金として発足し、議員の退職後を保障するものである。地方議会議員の職務の重要性を勘案し政策的に設けられた。地方公共団体の一機関を組織する議員の年金制度であるから、今後も地方公共団体が負担をすべきとされる。

住民からみれば議員報酬とは他にこうした年金がある事を知らない人もあるだろう。議員共済そのものの廃止はやむを得ないと思うが、廃止に伴う経過措置としての年数がかかるため、現行制度の実施もやむを得ない。この問題については住民に対する十分な説明が求められている。

**Q** 公費補てんは複数の自治体からも「根拠法令が未成立」「支給額の算出根拠の説明がない」と指摘されている。先日、東日本大震災で今後は国の交付税が絞られると予想される。当初予算ではなく、補正予算などで慎重に対応するべきでは。

まずは成立した法律の中身をしっかりと精査したうえで、自立した村としてどうするかを考えるのが重要ではないか。

**村長** 昨年からの予算編成にあたってこれについては準備をし、本年度予算に計上した。一方で、地方公共団体や地方議会からもそうした声もあるので、国や県に要望を挙げてゆく事もやぶさかではない。

## 昨今の政治情勢について

田上康男議員

**村長**…村政については見直しを含めた検討をしたい

**Q** 小泉政権以降、国政は5人の首相が1年も持たずに目まぐるしく交替し国民不在の政治が続いているが一方名古屋市長・阿久根市のような事例は首長と議会の権力争い、専決連発による議会軽視であり、住民不在の許さざるべき事態と考えるが村長の見解は。

**村長** 国政は一昨年、政権が交代し現政党は地域主権改革、政治主導による政権運営を推進しようとしているが、政局が先行して混沌とした状況にあり、一日も早い安定が望まれる。県政は新知事の下、県民主権の政策実現へ向けて動き出しているが、名古屋・阿久根市の事例は首長と議会の対立と受け止める。いずれ

も今までの地方行政上は想定していなかった、新たな事象の発祥であり注目を要する。総務省はこれらの解消として自治法の抜本的な改正と新たな地方自治に向けた情報収集に努めている。

**Q** 新聞社が実施した「県下77町村議会議長」のアンケート結果はご承知と思うが、この中に具体的事例として議長の招集権・通年議会の開催に関する事案が近年各地で検討・導入が進んでいる。議会の招集権は中央集権政治の発想のもと、首長の強力な権限の一つとして付与されたものと推測するが、地方分権推進のためには改善すべき事案と考えて議員の研究会でも検討した。残念ながらも

任期中の導入はできなかったが、議会改革の命題として次期での実現を期すこととし、首長としての見解は。

**村長** 現行の地方自治法では議会の招集権は首長にあり、議会が自主的に議会を開くことができない仕組みとなっている。しかし、今の制度でも「会期の決定権」は議会にあるので、年初の議会開催時に長期間の会期を決定すれば通年議会と同様の運営も可能である。今回の自治法改正案は、

前述のような事象が生じた為、正常でない状況時には議長にも議会の招集権を付与するものである。また本村においては定例議会の他、臨時議会を適宜開催して専決処分未然防止に努めており、行政として特別の不都合を感じないが、通年議会による新たな議会活動の展開や議員の政策提案等が期待され、上松町・大桑村議会の導入決定の状況を勘案の上、本村議会の決断を尊重したい。

**Q** 最近、議会内閣制や事業仕分け等が言われ、議会内閣制は理解しにくい部分と、是非について判断が難しく、さらなる検討を要する事項と考える。事業仕分けについては流行語の感があるが、本村では自立選択時に先行して既に実施済みである。

当村の事業仕分けも5年が経過しており、再見直しが必要と考えるがどうか。

**村長** 現在は首長に執行権、議会に議決権を与えた「二元代表制」であるが、「議会内閣制」は橋下大阪府知事が提唱している新たな制度で一元制

のような考え方である。現行の制度でも特段の不都合はなく、両者が十分に機能を発揮すれば新たな制度は不要と考える。「事業仕分け」については国政、県政で馴染みの言葉として定着しつつあり、政治への関心、無駄を省くなど一定の効果が認められている。村政については再見直しを含めた何らかの検討を考えたい。

**意見** 現議員の任期もあとわずかになったが町村議会は若い人のなり手不足が課題となっており、今度の議会議員選挙には若い人が積極的に立候補して活発な選挙戦が行われることを望む。

なお23年度予算案は、栗屋村政3期目の初年度にふさわしい積極的かつ中身の充実したものであり、高く評価する。しかし突如発生した未曾有の大地震によって国家予算、景気の動向などにより変動の可能性もある。実施については慎重を期すよう要望する。



3月16日 木祖中学校卒業式

# 1月臨時議会 2億180万2千円を緊急追加 総額32億8,440万8千円に

平成23年1月21日(金)に臨時議会が開かれました。主な内容は、きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金を受け、国の経済対策に合わせ村単独の経済・雇用対策事業、過疎対策事業を実施するもので、補正額は1億9,478万8千円となりました。

会計名	補正前	補正額	計	主な内容
一般会計	23億2,384万円	1億9,478万8千円	25億1,862万8千円	歳入…村税・地方交付税・国庫補助金・県補助金・諸収入・村債 歳出…介護保険事業費・水道特会繰出金・有害鳥獣対策事業費・こだまの森施設維持費・別荘管理費・土木総務費・道路維持補修費・村営住宅整備事業費・防災諸費・小中学校管理費・公民館施設維持管理費・郷土館施設維持費・社会体育施設改修費・学校給食事業費
村営水道	1億3,241万7千円	701万4千円	1億3,943万1千円	歳入…一般会計繰入金 歳出…施設改良費

## ●主な補正内容

要支援者管理システムソフトウェア273万円、村営水道特別会計への繰出金701万4千円、道路台帳電子化業務委託費827万4千円、村営住宅建設事業7483万7千円、道路維持補修費(村道かんど原線・細島ため池線・西山2号線)3730万円、防災諸費(消防関連衛星電話工事・購入)982万6千円、社会体育館改修費1612万1千円、他

◆木祖村基金条例の一部改正：木祖村過疎対策道路維持基金の新設

◆工事請負変更契約の締結：木祖中学校体育館耐震改修工事の工期を15日延長。金額に変更はなし。



3月17日 木祖小学校卒業式

## 1月臨時議会 審議された内容

**Q** 木祖村基金条例の各基金の名称と内容に理解しにくい部分がある。木祖村林業振興基金は何をうたっているのか。  
**会計管理者** 荻原生産森林組合、小木曾林協の人工造林事業に対する補助を行うための積み立てである。

**Q** 人工造林事業を今後も続ける方針か。  
**農林課長** 拡大造林事業は10年程前に行なったがその後は実施していない。23年度は森林基本計画の切り替え時期であるので、その中で今後の方針について検討をしたい。

**Q** 過疎対策道路維持基金の利用期限はあるのか。  
**総務課長** 期限は定められていない。

## 一般会計補正 予算関連

**Q** 住民生活に光を注ぐ交付金の2次配分の金額は確実なものなのか。  
**総務課長** 県の情報の中の金額で、確実なものではない。

**Q** 有害鳥獣対策事業で、菅地区に早急に危険木の伐採をして欲しい箇所があるが。  
**農林課長** 現地調査をして対応したい。

**村長** 村内で他にも同様の事例がある。ルールを決めて対応したい。

**Q** 畜産担い手確保育成事業では村内の受入態勢に配慮を。奨学金の貸付金15万円以外に生活費は出るのか。  
**村長** 里親への補助金等も活用できればと考える。木曾牛のブランド化に取り組んでいるのは木祖村で2軒。元となる牛を育てる人材の確保、産業としての位置づけが必要。また50haを超す牧草地の荒廃化を防ぎ、堆肥の循

環化等を行うため事業化したい。

**Q** こだまの森危険除木処理に関し、敷地南側のカラ松の景観整備はどうか。

**商工観光課長** エリア外の民地部分も含め全体計画の中で進めたい。委託先は村内としたい。

**Q** 村営住宅建設にともなう下水道工事は、既設の建物を撤去後に工事したほうが良いのでは。

**建設水道課長** 上下水道工事共に旧数原保育園の建物とは影響なしで行う予定。

**Q** 社会体育館補修工事で、屋根の箱樋は補修後も従来と同じ形なら、また同じ理由で植物の着床がおこる。現代的な技術で良い形へ変えられないか。

**教育長** 箱樋は雪止めの役割もある。維持管理コストが低減できるよう樋の中への敷砂利は行わない。

**Q** 内装改修も、休憩室

や更衣室としての改修は考えていないのか。

**教育長** 会議室の現状は休憩室として使われているが、大会議室としても利用もできるように畳に改修したい。

**Q** 要援護者管理システムは、既設のものに自分たちで加工して使うことはできないのか。

**住民福祉課長** 現在は基本的な資産税課税システムの上に道路・上下水道台帳をリンクさせている。これらを活用した専門的な仕事になる。

**Q** 要援護者の情報は、しっかりと把握できているか。

**住民福祉課長** 台帳は過去に整備されたがその後の整理が不十分な点がある。今回の事業でその整理も併せて行いたい。

**Q** 消防費衛星携帯電話事業は消防の広域化と関連させて行っているかどうか。  
**総務課長** 各町村の消防で使っている施設を消防広域化に抱きこませるこ

とはできない。最初から切り離して考えている。

**Q** 土木費道路維持補修事業では実施をする具体的な箇所は決まっているのか。

**建設水道課長** 自治会要望、懇談会の中で出された緊急性の高い箇所から実施したい。国県で行う事業は引き続き要望をしていく。

### 水道特別会計 補正予算

**Q** 高区配水管布設替工事はなぜ遠回りしての布設替なのか。費用対効果を検討しているか。

**建設水道課長** 既設の配水管の管種は石綿管であり現在布設している箇所は民地である。将来の維持管理を考え村道に布設をしたい。



## 源気印 サークル紹介 ⑧

### 木柵村ソフトバレーリーグ戦

今回は、平成19年から始まった大好評のソフトバレーリーグ戦を紹介いたします。第7回のリーグ戦も平成22年11月から始まり、中学生から大人まで幅広い世代の皆さんの参加で盛り上がりました。「時には真剣！でも時にはおもしろいプレーで会場全体が笑いに！」仲間と共に日ごろの運動不足やストレス解消になっています。

#### 【参加者の声】

●一番上の世代だったけど、若い人達に負けないう頑張った。チームは違つが家族で参加できて良かったです。(60代男性)

●ソフトバレーリーグ戦が始まった当初からずっと参加しています。年々全体のレベルが上がっていくのがわかります。その中で自分の技術も学べ、また普段交流のない方々とお話することができ、大変貴重な場だと思えます。次のリーグ戦も楽しみです！

(30代女性)  
●村内のあらゆる年代の方々との交流が楽しくできて良かったです。(10代男性)

5月以降に第8回リーグ戦を計画しております。1チーム4名以上(うち女性2名以上)で参加できますので一緒にソフトバレーを楽しみましょう！

教育委員会事務局  
担当 高柳 政次



# 議会日誌

(平成23年1月12日～4月5日)

- |       |                   |       |                |
|-------|-------------------|-------|----------------|
| 1月17日 | 議会報編集委員会          | 3月 2日 | 議会運営委員会        |
| 20日   | 木祖村商工会新年会         | 8日    | 3月定例議会         |
| 21日   | 1月臨時議会            | 9日    | 3月定例議会         |
| 27日   | 例月出納検査            | 14日   | 3月定例議会         |
| 2月 7日 | 道の駅運営協議会          | 16日   | 木祖中学校卒業式       |
| 14日   | 木曾広域連合議会福祉環境常任委員会 | 17日   | 木祖小学校卒業式・全員協議会 |
| 14日   | 議会活性化研究会          | 22日   | 議会報編集委員会       |
| 18日   | 松塩筑木曾老人施設組合2月定例議会 | 24日   | とちのみ保育園卒園式     |
| 21日   | 木曾広域連合議会総務常任委員会   | 25日   | 例月出納検査         |
| 25日   | 長野県町村議会議長会定期総会    | 4月 2日 | 消防団任命式         |
| 25日   | 例月出納検査            | 4日    | 議会報編集委員会       |
| 28日   | 木曾広域連合議会2月定例会     | 5日    | 小中学校入学式        |



4年間ありがとうございました。

## 編集後記

▼3月11日、宮城県沖を震源とするマグニチュード9の東日本大震災が発生した。想像を絶する被災地の状況。1ヶ月経ってもその全容がつかめないほどの被害状況と、追い打ちをかけた原発の事故。津波を免れた地区も放射能と、涙なしには語れない。木祖村に避難された皆さんも含め1日も早い復興を心から願いたい。

木祖村にとって地震と聞いて怖いのは味噌川ダム。その貯水量は諏訪湖に匹敵する。地震の対応で味噌川ダム管理事務所聞いた。日本のダムは河川管理施設等構造令という基準に基づき「震度法」と呼ばれる耐震設計法で設計されている。この法で設計されたダムは阪神大震災の時に、川西市の一庫ダムで震度7相当の揺れを観測したときも異常はなく、味噌川ダムも同様に地震に対して十分な耐震性を持った構造となっている。今回の地震発生時、味噌川ダム基準点では震度3を観測したが異常はなかった。阪神以降の新潟県中越地震でも震源地周辺にある多数のダムにおいても大きな被害はなく、ダム本体は地震に対して十分な耐震性を持った構造となっている。将来起こりうる最大規模の地震を想定して設計されており、地質的にも地震に強い地盤上に設置されているため、たとえ大地震がおきても大丈夫と回答があった。

いつまでも安全で安心して暮らせる村でありたい。

議会報編集委員

古畑 節行  
深澤 衿子  
星 梓

●議会傍聴に出かけてみませんか 行政がどんな村づくりを考えているのかお確かめ下さい